



令和8（2026）年度

あいじ福祉会 三日市保育所
TEL 54-1064

8月 保育所だより

あいじ福祉会の理念

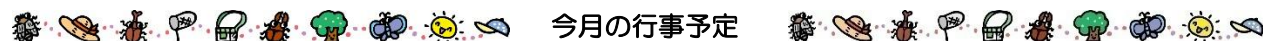
基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

照りつける日差しに夏本番を感じる季節となりました。

子ども達は暑さを嫌わず、水シャワーを浴びながら歓声をあげたり、水の冷たさや感触を全身で味わう等、保育者や友達と一緒に夏の遊びを楽しんでいます。

今月はお盆の月でもあります。ご先祖様を敬い、今ある命や家族との繋がりに感謝する大切な機会です。子ども達にとっても、家族と過ごす時間を通して、人を思いやる気持ちや感謝の気持ちに触れる機会になることを願っています。



今月の行事予定

3(月)	保育実習生 金沢星稜大学（～21日） 黒部まつり あんどん出展（5歳児） 三日市商店街に8/31まで飾られます	22(土)	ベルマーク整理日 3歳児いぬ組 9:45～11:00
7(金)	ココロ合唱隊来所（4・5歳児） 布団持ち帰り（随時）	25(火)	ひまわりの日～命ありがとう～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。※主食はいりません。 ※感謝の日 3園合同研修会 18:00～
11(火)	🇯🇵 山の日	28(金)	0歳児ひよこ組 みんなのつどい 15:10～16:00 布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
17(月)	交通指導 年齢に応じ交通ルールを学びます		
18(火)	10歳のつどい 現在、小学校4年生の同窓生を招待します。		
19(水)	陶芸教室（5歳児）10:00～		
20(木)	避難訓練 想定：近隣火災 子育てサロン 未就園の地域のお子さんが親子で参加されます。 身体測定（29日まで）		



七夕になぜ短冊や飾りを飾るの？

七夕では、願い事を書いた短冊を笹につるします。これは、織姫のように技芸が上達するように願うことが始まりとされ、魔除けや願い事成就の意味も込められているそうです。吹き流しは、織姫の織り糸を表し、裁縫や学業の上達を願う意味も込められているそうです。三日市保育所の子ども達のそれぞれの願いも、天の神様に届きますように。



保育・教育

“子どもの生活は全て遊びとも言われています。子どもの心と体の健やかな成長に、遊びは欠かせません。「面白そう」「やってみたい」「不思議だね」等、試行錯誤や工夫を重ねる過程でいろいろな学びを得ています。”
今回は、遊びの紹介や、子ども達が夢中になって遊ぶ様子をお伝えします。



0歳児 ひよこ組

暑い日が続いていますが、0歳児の子ども達は保育者の側で安心して過ごし、テラスで水遊びをしています。そっと手を伸ばし、水面に浮かぶカードやボールを拾い、水の感触に目を丸くしています。慣れてくると手でパチャパチャと水をはたいて水に触れることを楽しんでいます。また、『カード落とし』や『ボール遊び』では、握ったり放したりを繰り返しながら指先を使って遊んでいます。「上手にポーンしたね。」の保育士の声掛けに、手を叩いて喜んでいます。
健康面に留意し、水分と休息を取りながら、一人一人に寄り添い楽しく夏を過ごしていきたいと思います。



1歳児 りす組

りす組の子ども達は、毎日様々な遊びを楽しみながら「面白そう」「自分もやってみたい」という気持ちを育んでいます。
ボールプールでは、ボールの上に寝転んだり、かごの中にボールを運んでいっぱいにしたりと、それぞれ好きな遊びを見つけて夢中になっています。
ウォーターマットでは、水の中を動く玩具を目で追ったり、捕まえようと手で押さえて水の感触を味わったりしています。また、大きな氷に触れる際には、「冷た～」と何度も触れて楽しんでいます。
これからも、子ども達の興味を大切に、五感を使って夢中になれる遊びを取り入れていきたいと思います。



2歳児 うさぎ組

生き物が大好きな子ども達は、園庭に出るとバッタやダンゴ虫をさがしはじめます。5月にはカブト虫の幼虫がうさぎ組に仲間入りし、「これはなんだ!？」と、初めは驚いていました。幼虫→さなぎ→カブト虫と姿の変化に「なんか変わったよ!」と、ミニ図鑑を広げ、「これと同じだね!」と照らし合わせていました。
カブト虫になると「どうしてゼリーを食べるのかな?」「なんで土の中にもぐっていくの?」「なんで!なんで!」と気になることが沢山出てきたり「ちょっと触ってみたい!」と触れてみようとする姿も見られます。子ども達が不思議に思ったことに共感しながら豊かな感性や好奇心が育っていくよう今後も関わっていききたいと思います。



3歳児 いぬ組

園庭では、色水や泥だんご作り、洗濯ごっこ、雨どいに水を流すなど、夏ならではの遊びを保育者や友だちと一緒に楽しんでいます。その中で…
（色水作り）
赤と白を混ぜるとピンクになる
赤と青を混ぜると紫になった
（雨どいを使って大型タライまで水を流す）
水を流すには雨どいを斜めにしないといけない
斜めに置くためにままごとのバケツなどを下に置くなど、何度も試行錯誤する中で気づいたり、友だちと教え合う姿が見られます。自分で分かった時、できた時の顔は喜びに溢れ、輝いています。今は調べると簡単に答えが分かる時代ですが、自分で試行錯誤したからこそ得た学びは、子ども達にとって大きな学びの体験になると思います。試行錯誤の体験を大切に積み重ねていきたいと思っています。



4歳児 くま組

保育室にある“科学の絵本”をきっかけに実験遊びを楽しんでいます。最初に行ったのが野菜を使った『ぶかぶか』『なすの色変わり』などの実験です。『野菜ぶかぶか実験』では、昼食で使われる身近な野菜が、水に浮くか沈むかを試します。経験を重ねることで自分なりに予想して、実際にはどうなるかを見届け、その結果に「お～!!」と興奮する姿があります。更に実験結果が、実り方とも関係があることを知り、そこにも関心を広げています。また、梅雨期には『雨の日（水）の実験』もしました。
実験遊びを通して、自然現象や物事にも「〇〇したらどうなるかな?」「なんで〇〇なるんやろ?」と考えたり、試そうとする様子が見られます。今後も、子ども達の《なぜなぜ?》の好奇心の芽を膨らませ、一緒に経験を重ね、経験からの生きた知識へとつなげていきたいと思っています。



5歳児 らいおん組

6種類の野菜を栽培しています。栽培する中で様々な問題が起きています。その都度子ども達は話し合い解決方法を考えています。
カラスの被害にあった際は、『落とし穴を作ってみては!』ということになり、みんなで畑の周りに穴をいくつも掘っていました。「先生油ちょうだい」というので、何に使うのかと思っていると、カラスが滑って落ちるようにと穴の周りに塗りたいとのことでした。
子ども達は、様々な問題に対して、「どうしたらいいんだろう」とみんなで考えいろいろな方法を出し合っています。
最初は、友だちが出した意見に、「でもそんなことしたら〇〇になるかもしれん」と言っていたのですが、今は「やってみんとわからんよ」と言い、これがいいかもと思うことをまず行動に移す姿が見られます。
子ども達が安心して考えたことを行動に移せるように援助していきたいと思っています